

CPD 個人登録者の皆さま

研修会の“受講”や“講師”の記録を証明する書類について

農業農村工学会 技術者継続教育機構

農業農村工学会 技術者継続教育機構では CPD 制度が法令の下で活用される状況に対応し、「技術者継続教育機構業務運営細則」を定め、2021年4月より、それに従って CPD 制度を運用しており、【x】（自己学習）以外、全ての記録の申請に“記録を証明する書類”の提出を求めています。

については、研修会の“受講”（【ad】・【d】・【e】）や“講師”（【o2】・【p】・【q】）をされた皆さまから「どのような項目が記載された証明書が有効か」「研修主催者が証明書の発行をしない場合どうすればよいか」といった問い合わせがありましたので、以下をご確認いただきまして、研修会の受講（講師）の記録を証明する書類をご提出くださいますようお願いいたします。（【 】内は教育形態区分）

【ad】（建設系 CPD 協議会の相互承認プログラムの受講） / 【o2】（【ad】のプログラムでの講師）
 【d】（認定されていないプログラムの受講） / 【p】（【d】のプログラムでの講師）
 【e】（年間計画に基づき技術力向上を目的とする職場内研修の受講） / 【q】（【e】の職場内研修の講師）

●研修会を“受講”した場合、どのような項目が記載された「受講証明書」が必要か

- ・研修会の①開催日時 ②研修名称 ③研修内容 ④受講者氏名 ⑤受講時間が記載され、研修主催者が申請者の出席を証明する⑥証明印が押印された「受講証明書」が必要です。
- ・「受講証明書」に①～⑥の何れかが欠落している場合は、**欠落部分を補足説明する資料**を添付して「受講証明書」と共にご提出ください。なお、【ad】（建設系 CPD 協議会の相互承認プログラムの受講）の場合は、研修主催者が発行する「受講証明書」のみで、その他補足資料は不要です。建設系 CPD 協議会加盟学協会が主催する研修会であっても、建設系 CPD 協議会のホームページに掲載されていないプログラムは【d】（認定されていないプログラムの受講）に相当し、補足資料が必要です。

	「受講証明書」に欠落している項目	欠落部分の補足として添付する資料(例)
例 1	③研修内容の記載がない場合	「開催案内」などの研修内容がわかる文書
例 2	④受講者氏名の記載がない場合	参加申込みをした際の「主催者返信メール」や、主催者作成の「参加者一覧リスト」など
例 3	⑤受講時間の記載ない場合	「開催案内」などの開催時間がわかる文書

●研修会で“講師”をした場合、どのような項目が記載された証拠書類が必要か

- ・研修会の①開催日時 ②研修名称 ③研修内容 ④講師の氏名 ⑤講師時間が記載された講演プログラムなどが必要です。

- ・講演プログラムに代えて、研修主催者が発行する「講師証明書」も有効ですが、講演プログラム、「講師証明書」に①～⑤の何れかが欠落している場合は、上記を参照し、**欠落部分を補足説明する資料**を添付の上、ご提出ください。なお、研修会が[ad]に該当する場合は、研修会主催者が発行する「講師証明書」のみで、その他補足資料は不要です。

●研修主催者が「受講証明書」を発行しない場合

- ・Web 申請時に、上記の①～⑥の項目が記載されている「開催案内」や参加申込みをした際の「主催者返信メール」など、第三者が見て受講された事実が確認できる資料を添付してください。

なお、研修会のテキストや PTT の画面は、受講や講師を証明する資料にはなりません。また、“記録を証明する書類”の提出が無い場合や、上記の①～⑥の項目が確認できない場合は「認定不可」となる場合がありますので、ご了承をくださいますようお願い申し上げます。 以上

「受講証明書」記載例

受講証明書(記載例)

受講者氏名：所属 (または講師氏名)	機構 一郎：●●株式会社
研修名称	ダム施工技術者のための基礎講習会
開催日時	2021年8月2日(月) 10時30分～15時
開催場所	●●ビル 第1研修室(住所：東京都港区●●1-1-1)
開催形式	座学による集合研修
研修主催者	●●協会
研修内容 (プログラム)	10:30～ 施工技術者のための基礎的なダム技術 11:00～ ダムと基礎の設計における最新情報 12:00～ (休憩) 13:00～ ダムの基礎地盤に要求される力学性能について 14:00～ 厳しい力学条件下におけるダムの設計方法について
受講時間 (または講師時間)	3時間30分(210分)

上記の者が受講(または講師)をしたことを証明します

2021年8月10日

(主催者) 東京都港区●●1-1-1

●●協会

印